

「しづかなば」はん

はせ ひろいち

ノがある。

自分の手を暫し見つめる容子。ふと空間に視線を送る容子。少しだけ明るくなる空間。ややあって駆け込むパジャマ姿の小坂恵美子。動きを止める容子。部屋の空気に違和を感じる。

◆登場人物◆

桜井 鉱一（山音クリニツク・分室長）

角田 早苗（同分室ケースワーカー）

山音 恵子（山音クリニツク所長）

若林 なつみ（同分室の外来患者）

小坂 恵美子（同分室の入院患者）

仁科 容子（同分室の元入院患者）

神谷 慎二（ネット関連の業者）

小山内 優（なつみの友人）

谷涼次（恵美子の弟）

藤沢 トキコ（フリーのルポライター）

【SCENE／1】

何處からか音が聞こえる。波音にも似た、何か小石を擦りあわせるような音。静かに少女に光。白っぽい衣装に身を包んだ仁科容子。どうやら器を手に米を磨いでいるらしい。

仁科容子 : (ふと顔を上げ) そこで大きなポイントになるのが洗米の過程であろう。最近は、マイコン型自動炊飯器などにより、手軽にご飯をおいしく炊けるようになった。ゆえにこの前段階、「米を磨ぐ」作業こそがおいしいご飯に大きく作用すると思つてもらいたい。もちろん、その前にも忘れてはならないのがお米の計量だ。お米は、炊飯器に付属している計量カップ・180mlで計る。カップにすりきりまで入れて、きちんと計ることがポイント。ちなみに洗米の後、水気をきちんととった後に、炊飯器に注ぐ水の量も同様に必ず計量カップで計りたい。炊飯器の内側に刻んである目盛はあくまでも目安に過ぎない。世の中には経験と勘に頼れるものとそうしてはいけないモノ

涼次 姉さん、待つて、僕の話も聞いてよ。

早苗 ここは関係者以外立ち入り禁止です。

涼次 だから関係者ですって。血を分けたたつた一人の姉弟です。

早苗 従つてもらえないなら警察に連絡します。そもそもこの時間に館内に居る事自体が不法侵入です。

涼次 何處にでもかけければいいでしょ。

早苗 本当にそうしますので。

恵美子 待つて、角田さん。

早苗 恵美子さん……

恵美子 : (涼次に) どうやつて入ったの?

涼次 ずっとトイレに籠つてた……

早苗 診察時間内に忍び込んで?

涼次 だって……なかなか2人きりになれそうになくて……

恵美子 そう……

涼次 どうしたんだよ姉さん。3年ぶりに訪ねてみれば……そんなに瘦せちゃつて……何があつたんだよ。

恵美子 来ないで。

体を硬直させる恵美子。

山音 涼次 山音 涼次
それがまず最初のルール。守れる?
はあ:
山音 貴方の不用意な「ゴメン姉さん」で、彼女が一晩考え込んでしまうケー
スだつてあるんだからね。

涼次 でも……あの、姉はそもそも何で…

山音 どう思つた?

涼次 えつと……姉を見てですか?

山音 久しぶりなんでしょ?

涼次 ええ、まあ……

山音 谷涼次君ね。お姉さんの苗字はもともと小坂だから……君が変えられたん
だ。辛かつた?

山音 なんでそこまで…

涼次 私の患者だからよ。他にどんな理由があるの。

山音 じやあ、先生は……

涼次 このあたりから再び米を磨ぎ始める容子。

山音 久しぶりにお姉さんを見てどうだった? スリムで奇麗になつた?

涼次 いえ……もうびっくりしてしまつて……なんて言うか……昔はもつと明るく
誰にでも、何だろ、好意をもつて周囲を見つめているような…:

山音 上等じゃない。

涼次 えつ?

山音 タバコ持つてない?

涼次 え、いや僕は……

山音 ま、どつみちバレると面倒か:

涼次 あの:

山音 いつまで居られるの?

涼次 とりあえず大学の方が試験休みなので。

山音 そう、じやあちよつと待つて。確か割引券が…

涼次 壁脇の事務机に向い、何やら引き出しの中を探る山音院長。

山音 涼次 山音 涼次
無言で院長に会釈する恵美子、早苗に付き添われ去る。

山音 涼次 山音 涼次
で? 何を謝ったの?

山音 涼次 山音 涼次
えつ?
たつた今……お姉さんに。

山音 涼次 山音 涼次
……それは…

山音 涼次 山音 涼次
ぼんやりとした感傷だけで、その場限りの発言をしない。
いや……

山音 涼次

えっ?
気のせいか、時折波の音が…
ああ…風向きの加減ね。10キロとは離れてないから。

手を止め山音を見つめる容子。

涼次

そうですか…姉はいつから…
ああ、これこれ、沖縄そばは食べた事ある?

山音 涼次

あ、いえ…
はしょって話しても2時間はかかるからさ。

山音 涼次

ああ、はい…。
じやあ、こっち。

部屋を出る山音、涼次。再び米を磨ぎ始める容子。

容子

…さて、いよいよ洗米。いわゆる米を磨ぐ段階である。まずは…
何処からか波の音、船の警笛。照明が落ち、手旗とカンテラの男達。
容子に救難信号を送る。

容子

「し、ず、か、な、ご、は、ん」：ん?

[SCENE／2] 明るくなる舞台。とある秋。依存症患者と向き合ったために建てられた山音クリニックの分室。その施設内のござっぱりしたフリースベース。正面の入り口から、白衣姿の桜井鉱一と女子高生姿の若林なつみが入ってくる。居場所を無くした容子、適当に去る。

桜井鉱一 若林なつみ 失礼します。

桜井 おっと、こりやいかんなあ、そうかそうか、朝方アルコールの方で使つてたから、ちよつと待つてね…まま、これに腰掛けて。

なつみに椅子を勧めながら、手早く部屋を片付ける桜井。

なつみ 断酒会ですか?

桜井 ああ、ううん。ディケアの一貫、太極拳。

なつみ へえ。そんなのもやつてるんだ。

桜井 そつちの方は大丈夫ですよねえ。

なつみ え、ああ…ええ、そつちのほうは、このトコロは。

桜井 そ。これいいかな…ホントに時間大丈夫?

なつみ ええ。30分ぐらいなら。

桜井 いやいや、僕もお客様待ちなんで、ほんの10分。ひとアイデアだけ。

(ノートを開きながら) 何か飲む?

なつみ ああ、いえ。

桜井 そ。で、何處まで行つたつけ…

なつみ チヒロとヤマザキが浜辺のコテージで隕石を目撃する場面。

桜井 ああ、そなう『ヤマザキ』な、なんだあれ? 大きかつたよねえ。す

ぐそこの岬の脇の海面に…津波とか大丈夫かなあ…』チヒロ『隕石ね、あ

れは』ヤマザキ『隕石? そうなの?』つて…

なつみ それが何か?

桜井 「チヒロ『隕石ね、あれは』」つて。

なつみ 別に。(微笑んで) やだ先生…

なつみ 少し唐突じゃない? だつてチヒロつて平凡な女子大生でしょ? まるで隕石の飛来を知してた学者とか、実は宇宙人だつたみたいな…

なつみ (微笑んで) 平凡の解釈が、広いって事?

桜井 え、何が?

なつみ 海ですよ。ヒロインですから。

なつみ えつと…平凡で…

桜井 海? 海は広いなうつてあれ?

なつみ ですから、ヒロイン。ヒロインですから。

桜井 ああ、ああ。

なつみ それに、そろそろ話を展開させないと、ただの純愛ロマンスになつてしまふでしょ? いくらガキ相手とは言え……

桜井 ちよつと、ちよつと待つてね、なつみ君。えつとじやあ、ヒロインであるチヒロは…え、そう展開する訳? 海洋学者とか予知能力者とか?

コメントの追加 [はしごち1]: P1 では「机上」

なつみ そうじやないけど…だって、唐突じやないでしょ？ ちゃんと伏線は

つてあつたでしょ？ ヤマザキのマンションのシーンで。

桜井 えっと？

なつみ えっと？

桜井 やだなあ：ヤマザキの誕生日にチヒロが手料理作つて、栓抜きが無

くなつてしまふでしょ？

桜井 ああ、そうねえ、そんでヤマザキが年の功つて奴？ 座卓の角を使って

見事に栓を抜く。

なつみ 帰り際にチヒロのヘアピンもなくなるでしょ？

桜井 ヤマザキ曰く「髪を下ろした君もなかなかキューートだ」。

なつみ なつみ

桜井 両方とも金属でしょ？

なつみ え：何？ これがその隕石の伏線だったの？

なつみ なつみ

桜井 そりやそうですよ。アクシデントにはアクシデントなりの理由がある

んです。そうでなければ登場人物を都合よく動かすための作家の御都合主義

になつてしまふでしょ。

桜井 …すごい。

なつみ なつみ

桜井 ああ、受け売り。

なつみ なつみ

桜井 いや、まあ、それはいいとして、なつみ君：

なつみ なつみ

桜井 何でそれがこの隕石のくだりの伏線になるのかな？

なつみ なつみ

桜井 うん：隕石と引力は違うよねえ：磁石とも違うし。

なつみ なつみ

桜井 だから、ブラックホールでしょ？

なつみ なつみ

桜井 はい？

なつみ なつみ

桜井 順石を見て素早く言い当てたんでしょう？ 何か変？

桜井 だって、ココは避暑地の海岸だよ、ヤマザキのマンションとは何百キロ

も離れてる。

なつみ なつみ

桜井 え、そうなの？

なつみ なつみ

桜井 ヤマザキがチヒロに手料理の感想を聞かれたくだり。

なつみ なつみ

桜井 えっと……「ヤマザキ『いやあ、どれも上手いよ。この煮付けなんかお

袋の味そつくりだ』」

なつみ なつみ

桜井 「チヒロ『褒めてばかりだと余計に信じられなくなるわ』」

なつみ なつみ

桜井 「…でも海を思い出させる風味だね』」…うわあ、これかあ！

なつみ なつみ

桜井 その時点でチヒロは今日の海岸での遭遇を予感していたの。

なつみ なつみ

桜井 そうだったのかあ：

なつみ なつみ

桜井 あ、いや…でもさあ…

女の声 失礼します。

なつみ なつみ

桜井 正面奥からケースワーカーの角田早苗。カルテを持って登場。

角田早苗 生とお約束があるとかで…

桜井 （腕時計見ながら）ちえ、少しは遅れると踏んでたんだけどな…。

早苗 待たせましょうか？ 私でもいい用件なら…

桜井 あ、いや…同席はして欲しいんだけど…ゴメンネ、続きはメールで、

朝までには送るから。

なつみ なつみ

桜井 はい…（立ち上り）あの。

なつみ なつみ

桜井 何？

なつみ なつみ

桜井 真っ直ぐ帰つていい？ 受付寄らずに。

なつみ なつみ

桜井 ああ、もちろん。角田君。

なつみ なつみ

桜井 肯定、机上のインターフォンに向う早苗。

なつみ なつみ

桜井 変な奴に遭わないし。

早苗 えつ？

桜井 なつみ君…

早苗 なつみ ねえ先生…これって治療の一貫なんですか？

桜井 これって…共同執筆？

早苗 なつみ まあ。

桜井 んなわけがないでしょ。ねえ、僕まで信用できなくなつちやつた？

桜井 なつみ そうじやないけど…

桜井 ねえなつみ君、そりやこうして2人でお話作つてれば、お互の事をより分つてくるでしょ。その事によつて僕は君に、より良いアドバイスが出来るかもしれない。でもそれはあくまで結果論ですよ。僕らの目的は違う。2人で面白い児童劇を書くこと。それは信じてよ。

なつみ はあ…

桜井 それと、僕は治療という言葉は嫌いです。君は病気だけども病気ではない。治すんじやない。次にコマを進めるのね。

なつみ 分りました。じやあ…

桜井 うん。（早苗に視線）

早苗 （インターフォンを押して）フリースペースの角田です。B通路お願ひします。はい。1名です。

なつみ …じゃあまた来週。

桜井 うん。あつちの方はメールするから。

なつみ はい。失礼します。

去るなつみ。少し見送る早苗。

早苗 読まれてるじゃないですか。

桜井 え…ああ、なつみ君？ 違うよ。本気で狙つてるんだから10万円。

早苗 懸賞か何か？

桜井 あれ、知らない？ ちゃんと掲示板にも出てるんだけど…（ノートをまさぐり）これこれ…

早苗 （リーフを見て）えつと…あら、ちゃんと心療医師会の主催じやないですか。

桜井 まあ東日本ブロックだけどね。

早苗 え…ああ、なつみ君？ 違うよ。本気で狙つてるんだから10万円。

桜井 まあ…ああ、なつみ君？ 君は心配性すぎるつて。あれでなかなか面白い発想してるんだよ。何か一時期シナリオ教室に行つていたことなんかもあるらしい。

桜井 うん？

早苗 なつみさんにとって、治療ではないつて確認が、別の依存を生む目的を持つてないといいんですけどね。

桜井 ああ…それは…いやいや、大丈夫ですよ。

早苗 なつみさんにとって、治療ではないつて確認が、別の依存を生む目的を

桜井 まあ…ああ、なつみ君？ どういう事ですか？

早苗 ま、今夜晩飯でもしながらゆつくりと。空いてる？

桜井 詰めておきたいこともありますし…

早苗 ああ、例のルボライターさん？ 摂食の取材したいって言う。

桜井 ええ、私はやっぱりはつきりNOと言うべきだと思うんですよ。現場を預かる人間の主張として；実は昨晩もですね：

早苗 まあまあ、じやあそれも含めて今夜つて事で。虎屋でいい？

桜井 ええ、私は…でも、大丈夫かな…

早苗 ああ、なつみ君？ 君は心配性すぎるつて。あれでなかなか面白い発想してるんだよ。何か一時期シナリオ教室に行つていたことなんかもあるらしい。

桜井 うん？

早苗 なつみさんにとって、治療ではないつて確認が、別の依存を生む目的を持つてないといいんですけどね。

桜井 ああ…それは…いやいや、大丈夫ですよ。

早苗 まあ…ああ、なつみ君？ どういう事ですか？

桜井 まあととだ。最優秀作品に10万円。結構渋いんでは？

早苗 まあ、あくまで内々の企画だからね。それも試験的な。

桜井 あ、また白衣脱ぎ捨てて…院長に突っ込まれますよ。

早苗 好きじやないんだよ。どつかの医疗サービスじやあるまいし。

桜井 合作は。

早苗 まあまあ、でもプラックホールときた時は少々驚きましたけどね。

桜井 ブラックホール？

早苗 一瞬、心療内科医師の反応しちやつた。

桜井 ま、どうせ帰つても文献読んでるだけですけど…あ、それに、もう一度詰めおきたいこともありますし…

早苗 ああ、例のルボライターさん？ 摂食の取材したいって言う。

桜井 ええ、私はやっぱりはつきりNOと言うべきだと思うんですよ。現場を預かる人間の主張として；実は昨晩もですね：

早苗 まあまあ、じやあそれも含めて今夜つて事で。虎屋でいい？

桜井 ええ、私は…でも、大丈夫かな…

早苗 ああ、なつみ君？ 君は心配性すぎるつて。あれでなかなか面白い発想してるんだよ。何か一時期シナリオ教室に行つていたことなんかもあるらしい。

桜井 うん？

早苗 なつみさんにとって、治療ではないつて確認が、別の依存を生む目的を持つてないといいんですけどね。

桜井 ああ…それは…いやいや、大丈夫ですよ。

コメントの追加 [はしごち2]: 他の部分だと「机上」だったり「机の上」

決まって丁寧語になるんだから、自信がないときと何か隠すとき。

「大丈夫ですよ」って

「向ひてますね」って言つたよね。

「大丈夫ですよ」って。
「君は心療内科が向いてますね。
既に所属してます。」
「あ、ホントだ。今、僕「向いてますね」って言つたよね。
「言つた、言つた。」
「あ、でもね、丁寧語って言えば面白い話があつてね……」

机上のインターフォンから呼び出し音。

早苗 あやべ。 待たせたままだ。

早苗（愛詰器を取つて）今準

木下の邊に在り。

…これも何とかならないのかなあ。

何か余計な緊張させるでしょ？ みんなも僕達も。

がるんだつたら問題なかつたそうですよ、このフリースペース自体が。

業の反発ぶんじに、段十二。

男の声 どうもお忙しい所、恐縮です。

正面の入り口から営業マンスタイルの神谷涼次。

神谷涼次 始めまして…（早苗に）あいや、桜井先生とは先日も長々としたメーリで失礼を…

二〇

桜井は私です

(田舎を機井に捨てる)
(荒てて着込む)

はあ、どうも。

ビスの神谷と申します。

手作りのいい加減なもので申し訳ないんですが……

あれそれすら持ち合はせてないや すいません 櫻井です て こ

すハせん私も名刺は部屋こ冥らなハと

おもむろに破きながら） ただの紙つ切れ。ホント過去の產物ですでの。

あ、それとですねえ。先ほど自己紹介で…会社名の前に「前カズ」と申

まあ、そうでしようねえ。

まあどうぞ（椅子など収め）でどういたご用件でしょうか？

なハわけでしてね、それで今回は彼女にも同席をしてもらおうと思つてこ

そうだったんですか？

早苗 ちょっと待ってください、今何で？

神谷 えっと、ぼしゅ、ですか？ 何とかサービス。

早苗 神谷 ああ、これは失礼。ええ、墓守サービス。いわゆる墓守りですね。ほら 灯台守とか防人とか、あ、防人は違うか：

神谷 桜井 あの：全然話しが。
桜井 そうそう、まずはこれを…

鞆の中からパンフレットを出し2人に手渡す神谷。続いて紙コップを3つ出し、マイ水筒からお茶を注ぎ始める。

神谷 ああ、すいませんねえお構いなくて：

桜井 粗茶ですが。
早苗 はあ：どうも。

神谷 「ネット墓地：死者と出会える永遠の場所」？
世界中で開設されたウェブサイトの数が、個人さまのものも含めまして、

10億を突破したそうです。今まで人類が持ち得なかつた、全く新しい自己表現の場所です。新しいコミュニケーションのカタチ。自分の居場所。心の在処。僭越ながら私共はこうした心療内科の分野にも深く関わる本質的な領域だと思っています。

桜井 まあ、確かに。

早苗 んで？ んで？

神谷 もともと比較的若い世代に根づいた文化なのですが、さすがに近年、ウェブサイトを持つていらっしゃる方々で、そのご本人が他界されるケースが、少しずつ増えてきたわけでございます。

早苗 ああ、なるほどね。

神谷 ご本人が他界されたウェブサイトはどうなると思います？

早苗 ええと：サーバーへの契約が切れれば抹消されますよね。

神谷 ええ、でも例えは自動引き落としになつていて、遺族が手続きをしない内は本人が死んでもウェブサイトは生き続けますよね。もしくは遺族がそれを拒んだ場合。ほら、死んで何年か経つても、その人の部屋をそのままにしておく心理ですね。掃除もして、季節の花を飾り、いつでもその人が帰ってきた。これるようになります。ウェブサイトも基本的には可能ですね。

桜井 なるほど…

神谷 少なくとも亡くなつた直後、その人のウェブサイトは、実際に多くのアクセスを受ける事になります。哀悼、追悼の文章で溢れます。故人とのエピソード、初めて明かされる意外な一面。そんなモノが溢れかえり、皆が共有し

共感する。その人を偲ぶ、これも新しいカタチです。

桜井 もしかしたら生前のサイトよりも活気を帯び、リアリティーに溢れる訳か…。

神谷 さすが分長様。ピーピー。実際の葬儀の際に届けられる弔電など足元にも及ばないでしようね。何しろ時間に制約されず絶対的な量が違う。死んだはずのウェブサイトの主が、生前よりもくつきりと浮かび上がつてくる。ただ返事を書かないだけで、それ以外は最も現実味溢れる場所になるのです。

桜井 うーん。

神谷 お茶いただきます。（不味い）どうぞうぞ：仁科さんのウェブサイトをご覧になつた事は？

桜井 ずっと前に一度。もちろん生前だけど。1年ぐらいかな。

神谷 私は：ああ、そうだつたんですか。彼女もホームページを…あ、ああ。あ、私、やつと話が繋がりました。

桜井 同じようだつたんですか？ 今された例え話と。

神谷 ええ：と言うより、今お話をしたのがまさに仁科さんのケースです。以前にもあつたんでしようが、我が社がこういう事態を予測し、チェックし始めたからは、ほとんど最初のケースだつたんです。

桜井 ずっと死ぬ奴を待つてたんですね。有名人のサイトを巡回して。

神谷 そんな人聞きの悪い：まあ、でも、事務所がヤラセで開いてるモノも多くて…ああ、つまりいかにも本人が書き込んでるかのようにしておいて、実は100%ゴーストライターって奴ですね、そういうのは全部対象外でした：それに比べ、仁科さんはホントに自分でサイトを管理、運営していらした。

桜井 ええ、そういう性格でしたね、彼女は。

早苗 ねえ、先生。

桜井 先生がサイト見た頃ってのは、彼女、打ち明けて、書き込んでたんですか？ その、摂食障害の事。

桜井 まさか、だつて…一応はタレントのページだし…ねえ。

コメントの追加 [はしごち4]: カット
コメントの追加 [長谷5R4]:

神谷 ええ、まあ、それゆえに謎の死つて感じが強くて、いまだにミステリアスな展開になつておるわけです、はい。
早苗 飛び降りでしたよね……自室のマンションから……うん……結局線香の一つもあげに行けなかつた……ご愁傷様です……

気まずさからお茶を飲む桜井と神谷。不味い桜井。

早苗 あれ、でも、じやあ何ですか？ その仁科さんの死後のページをどうにかするつて事ですか？ 神谷さん達の会社が。

神谷 ええ、まあ、通常ですと、ご遺族の方々と相談しまして、一周忌辺りで供養の会などを盛大にラーニングして封鎖するか、逆に博物館的な扱いとしてページを整え半永久的に残すかを選択していただきます。

桜井 いずれもかなりの手数料を搾取できるつてわけですね。
神谷 またまた分長様。ちゃんと適切な価格設定ですよ。特に後者は保守点検も含め責任を持って代行する訳ですから……ご本人の生前の価値観、世界観を充分研究、熟知したうえで最適のサイト運営をですねえ……

桜井 つまり、そのためにも私達からいろいろ取材を？
神谷 ああ、いえ……でも最終的にはご遺族の同意が必要なんですよ？

桜井 あ、そうか、その手先になれつて事ですね、橋渡しの……いやいや、通常ならそれも仕事なんですが……

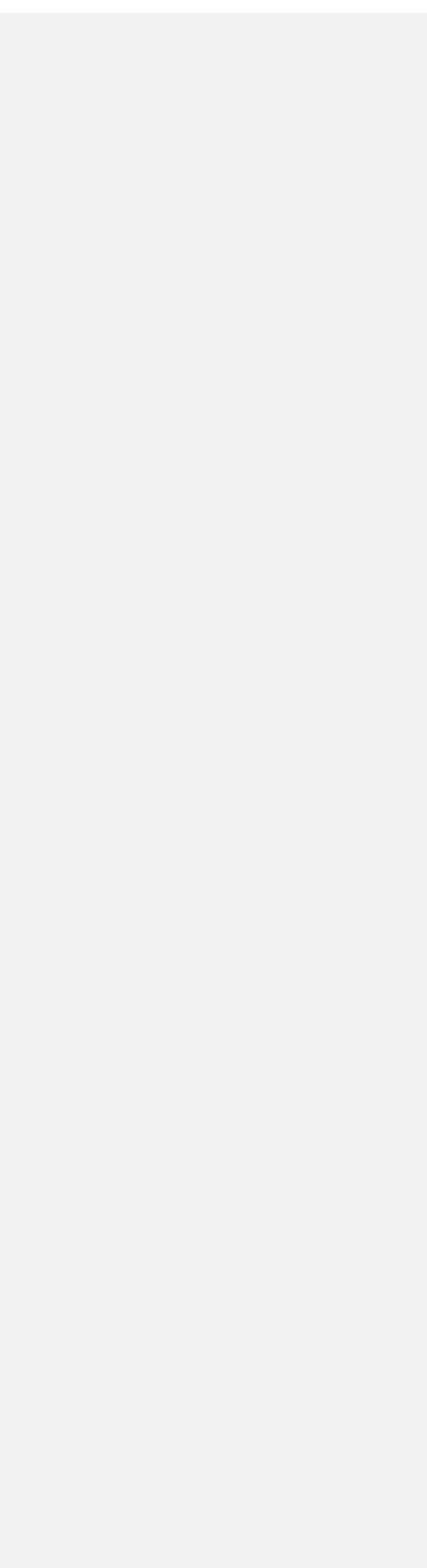
桜井 どう通常じゃないんです？
神谷 ああ、はい……ココからは私心ですが、私はこの業務を行うにあたり、40%を営業利益への動機にしています。

桜井 残りは？
神谷 やはりこんな時代ですからね。ネット上でき迷つてている魂の浄化です。特に彼女のようなケースだと、家庭環境といい、生きてきた社会といい、もしかするとネット上で唯一の生きる場所だったようにも思いますので……これが残りの40%です。

桜井 そうかもしませんね。
神谷 で、残りは？
早苗 はい？
神谷 ええ、まあ、それゆえに謎の死つて感じが強くて、いまだにミステリアスな展開になつておるわけです、はい。
早苗 飛び降りでしたよね……自室のマンションから……うん……結局線香の一つもあげに行けなかつた……ご愁傷様です……

神谷 40たす40で80。
早苗 あああ……
神谷 あああじやなくて。
神谷 個人的にファンでした。最初の仕事が彼女という事で、何か運命的な出会いを禁じ得ません。これが残りの10%です。
早苗 あと10。
神谷 えっ？
桜井 新手のトーク術ですか？
神谷 ああ、いやいや……実はいろいろネットを探つていたら、おかしな事が発見しましてね……ああ、でも、ココから先をお聞きになると、後戻りできませんよ？
桜井 ほら、やっぱ新手の営業トークだ。
早苗 乗りかかった船です。

桜井 早苗君……。
神谷 実は……彼女のサイトに最近おかしな書き込みがありましてね、怪談には少し時期遅れなんですが……ホントに聞きます？
桜井 乗りかかった船です。
早苗 そうまで言われては……書き込んだのが仁科容子さんご本人なんです。
桜井 まさか……。
神谷 もちろんこれは誰かの悪戯でしょうね。ま、こつちはその内足が付くでしょう。でも、僕はもつと気になる事がありましてね。
早苗 焦らないで、早く。
神谷 5月の13日。彼女がマンションから飛び降りる30分前。彼女、意味不明の文章をアップしてるんです。
桜井 ホントですか？
早苗 意味不明って？
神谷 化けましてね。
桜井 アルファベットに記号。とても読めたモノじゃない。
神谷 え、でも、それって彼女の最後の言葉。もし事件ならダイイングメッセイジって可能性もあるでしょ？ 警察は？



神谷 ええ、もちろん動いたようですよ。科学捜査研究所のコンピュータや暗号解読のプロなんかも使って。普通の文字化けだと、ある種のパターンがあつて比較的簡単に化ける前の文章が判明するそうなんですね。でも、どうしても引っかかるなかつたそうですね。

桜井 あ、じやあ、もしかして、僕らにお手伝い出来る事つて…

神谷 はい。どんな些細な事でもいいんです。キーワードを探すため、生前の容子さんの情報を。

早苗 文字化けのダイニングメッセージを復活させるためのキーワード…

桜井 いや、そう言われてもなあ…何か他に記述はないんですか？ その亡くなつた日には。

神谷 ええ。亡くなる3日前に詩が書かれていただけですね。その前には3ヶ月以上更新なくて…

早苗 詩つて、ポエムですか？

神谷 というより散文ですね。題名は「しづかな」はん」

早苗 静かなご飯？

神谷 全部ひらがなです。ああ、そうそうそれはコピーが…。

桜井 しずかなかはん、か。

早苗 何か意味深ですね。摂食の事を隠してたにしては…

うん…

神谷 ああ、これこれ：

女の声 あの…

見れば入り口に立つてゐる女子高生姿の小山内優。

早苗 2人を残し外へ去る桜井と神谷。暫しの間。

早苗 あ…じやあ、まあ、どうぞ。

優 失礼します。

早苗 少し緊張しながらも椅子に腰掛ける優。

早苗 (資料を見ながら) えつと…なつみさんのクラスメイト？

優 はい。あ、いえ去年まで…

早苗 悪いけど生徒手帳か何かお持ち？ 疑う訳じやないんだけど、一応患者さんを守る立場だから…

優 私なんです。

早苗 えつ？

優 私の所為なんです。なつみがあんなになつちやつたの。

早苗 そう…まだお名前を聞いてなかつたけど…

優 あ、すいません(生徒手帳を見せ)…小山内優と言います。なつみとはクラブが同じで…そもそも1年の夏休みに私が馬鹿なことをしなければ…

早苗 ああ、待つて。落ち着いて。えつと、ああ、3文字の小山内さんね。

優 …すいません。

桜井 彼女ならついさつき帰つて…

小山内優 知つてます。出でくの確認してから来てるんで…

桜井 ああ、そう…

優 ちよつといいですか？

桜井の残した資料を探り、手を止める早苗。

早苗 今になつみさんの事はご存知ですかね。
優 はい。攝食障害です。私がそれを知つてることを彼女も知つてます。だつて、私が…

早苗 大丈夫よ、落ち着いて。彼女もアナタの事は私達に話してくれています。一番信頼できる友人として聞いてるわ。

優 ウソツキ。

早苗 :えつ?

優 私が裏切ったんです。彼女の付き合つてた先輩を、奪つたんです、私が…

早苗 :そう…その辺は聞いてないけど…

この辺りで仁科容子がフライ入室。

優 信頼なんてウソです。殺したいくらいに増んでいます。

早苗 それは、彼女がそう言つたの? アナタに。

優 いえ、彼女は全然。でも、最近はあまり話さないし、でも、会うといつも

の笑顔で接してくれて…

早苗 そう。あのね小山内さん…それは何かの勘違いか考え過ぎじゃないかなあ。なつみさんは私達にいろいろ話してくれるのね。学校の事やお家の事、友達の事。そしてアナタの事。それにね…今、彼女は回復に向け、順調に推移してるので。周りが心配し過ぎるのがとてもよくない段階なの。気持ちには判るし、もしかしたら貴方の言う様な事もあったかも知れないけど…

優 彼、辞めたんです、行つてた大学。

早苗 :そうなの?

優 私とはとっくに別れてて、先輩達と会社作つてたらしいんだけど、何か大きな借金したって話で…

早苗 うん。

優 多分、なつみ彼の部屋にいます。家には帰つていなさいから。

早苗 いや、でも…ちょっと待つてね…ああ、確かにこの1ヶ月はお母さんが一緒に来てはいないいけど…

早苗 ついさつきもココ出て都通に向いました。彼の下宿が地下鉄北山線なんですよ。家に帰るなら右に向つて谷町でしょ?
ああ、まあ、そうねえ…でも小山内さんさあ…あ、ちょっと待つて。

容子 捨て水の残りで米を磨ぐ。この水の残り加減が技であり、力加減が奥義である。この段階で米粒には微妙な胚芽の部分が残つております。これを洗い過ぎてはいけない。胚芽の旨味が炊飯時にじみ出るよう、ほんの少し傷を付けるのが理想的である。米を「磨ぐ」とはそういう意味だ。心を込めて研磨する。指の第2関節と親指の腹を使い、全体に回るよう15回ほど摩擦したら、再びたっぷりの水を注ぎ、手早く捨てる。必ず捨てる。残り水で再び磨ぐ。これを2~3回、水を換えて繰り返し、最後は水気をきちんと切る。慣れてくると磨ぐ指の感覚が結構楽くなるモノだが、洗い過ぎは禁物。米の旨味である胚芽、およびそのアミロースなどまで水の中に捨てる事にならぬない:(手を止め)…磨ぎすぎたか?

資料を集め優を連れて部屋を出る早苗。

容子 :さていよいよ洗米。いわゆる米を磨ぐ段階である。まず計量したお米の中にたっぷり水を注ぐ。そして軽く手早く洗い、すぐに水を捨てる。一人暮らしを始めたばかりの初心者は、水を捨てず、大量の水の中で磨ぎ始めるが、これこそ大きな過ち。洗米とは、一つに米の表面についているヌカを落とすことが目的。水の中でゆっくり洗うと、ご飯自体がヌカ臭くなってしまうのだ。そして…:

再び米を磨ぎ出す容子。周囲はゆつくり夜の暗さに。

指に付いた米粒を眺める容子。やがて気を取り直して、

容子 金ザルなどを用い、充分米を乾燥させた後は、逆に炊く前、お米に水を吸わせる。水に浸す時間は水温により、夏場なら30分、冬なら最低2時間くらいで……何しろ、この辺りの繊細な準備に、どれだけ喜びを見出せるか。これが「美味しいご飯」にありつけるか否かの分岐点である。個人差もあるう。料理人の気質もあるう。とにかく……米は、いや焼きあげたご飯は、古より「完全食物」と呼ばれている。絶妙の栄養バランス、命の源としての……

どこからか目の焦点が合わなくなり、やがて言葉を失う容子。背後に予感めいた視線を送る。

【SCENE／3】早苗が入りざまに壁のスイッチを入れ、再び昼間のクリニック。

早苗 どうぞ。
女の声 失礼します。

藤沢トキコ ホントいろいろお手数をお掛けしまして。
早苗 いえ、仕事ですから。

トキコ 大変なお仕事ですね。
早苗 いえ、仕事ですから。
トキコ はあ……

山音 どうも、お待たせしました。
院長の山音が入室。

トキコ このたびは無理を言いまして……（名刺を出し）藤沢と申します。
山音 どうもご丁寧に（受け取り自分も出して）：山音です。
トキコ （早苗へ同様に）遅れましたが、藤沢です。

（受け取り）私は生憎切らしてまして。

山音 あら、そうなの？ ケースワーカーの角田です。
トキコ よろしく。

山音 角田さん、悪いけどお茶でも…

早苗 それも生憎切らしてまして。

山音 え、お茶つ葉を？

早苗 はい。

山音 そう……あ、じゃあ、小坂恵美子さんの部屋で待機してて、準備出来次第連絡するから。
早苗 合点承知の介。

山音 はい？

極めて社交辞令的に頭を垂れて去る早苗。

山音 すいませんねえ、普段はああじやないんですねが。
トキコ はあ……

山音 ヒトは秋口にも「盛りがつく」そうだから。

トキコ 何か気が立つてますね。昨夜も仕事だったらしく……あ、いや……あれは「盛り」かな。

トキコ えっと？

山音 ああ、すいません。ついつい馴染み口調で。

トキコ ああ、いえ。

山音 硬派な週刊誌に連載されてたでしょ？ 青少年の引きこもりに関する辛口エッセイ。たしか半年ほど。

トキコ ええ、はい。

山音 楽しみに拝見してました。確かペンネームが時田トキコさん。
トキコ ええ、あでも、何で分りました？ 顔写真は一度も、何処にも出してないはずなのに。

山音 連載の題字の下に手書きのサインあつたでしょ？ カタカナの「トキコ」がこれ（名刺）と同じ筆跡で。
トキコ いえ、大平さんからのご紹介で、カタカナのトキコさんって聞いた時、

コメントの追加 [はしごち6]: カット

コメントの追加 [はしごち7]: ちょっと違和感を感じます。
「いただければ」なら「幸いです」とか「と思います」と続くような気が。。。
「構いません」を残すなら、「いただいて」かな?

もしかしたらと思つたんです。「もしかしたらあのトキコさんかな」って。

トキコ どうも恐縮です。ただ……どちらも本名ですので念のため…

山音 えつと……じゃあ…

トキコ カタカタのトキコは親がつけたモノ。そして、連載してた頃の時田は

別れたダンナの名字です。

山音 あら、それは……どうもすいません。

トキコ いえ……でも、連載読んでもらつてたなんて……もう3年も前なのに、

覚えていただけで感激です。

山音 いえいえ。

トキコ あの頃が私のピークでした。

山音 はあ……そうなんですか？

トキコ ……随分嫌味に感じられたでしょ？ 地元の議会議員さんの名前まで使

つて無理な取材設定で…

山音 ああ、大平さん？ ま、一応名譽顧問に名前借りてますからね。嫌とは

いえませんね。

トキコ 知つて仕組みました。

山音 いえいえ冗談ですよ。私は平気ですね、そういうの。

トキコ （微笑んで）はあ。

トキコ じゃあ進めていいですか？

トキコ ええ、おねがいします。

山音 ああ、そういうまあ、いちいち細かいことを申し上げる必要もないんですけど……これから会つてもらう女性ですが、資料でも送りましたように、一時は生死の境までたどり着いた人です。体型や外見に関する質問だけはお避け下さい。

トキコ あ、はい。心得ます。

トキコ もちろん向うから話してきた話題に関しては流れに沿つていただければ構いません。

トキコ 承知しました。

トキコ 私も部屋の角に居て良かったですよね。

トキコ ええ、はい。

山音 それと……これは急な思い付きなので、どちらでも構わないんですが、もう一人だけ同席を許していただければと思いまして。

トキコ ああ、はい。じやあ先ほどの？

山音 ああ、いえ。これから会つてもらう小坂恵美子の実の弟さんです。昨晩久しぶりに再会した間柄で、一応のレクチャーは済ませたんですが、直に同席させるのも手つ取り早くていいかと思いましてね。

トキコ なるほど。

山音 私同様、取材中はいつさい発言させませんので。

トキコ ああ、はい。

山音 彼女本人には了承取つてあります。私もね、嫌がるかと思つたんですが、

意外といいますか、むしろ乗り気な感じでして。

トキコ そうですか。えつと、じゃあ弟さん、昨日までは彼女の様子を知らずにいらした訳ですね？

山音 ええ、昨晚は大変でした。依存症全般から始まつて拒食のプロセスを一通り話すだけでゴーヤチャンプル2皿。割引券があつて良かった。

トキコ 確か……娘さんがお父さんでしたね。

トキコ へえ……。

山音 資料にもあつたと思いますが、姉弟2人が高校生の時に両親が離婚。それぞれ別の親に引き取られたケースですね。

トキコ 確か……娘さんがお父さんでしたね。

トキコ はい。まあ、珍しいタイプですが……何か不味いですか？ 取材対象と

して……。

トキコ ああ、いえ。全然。

山音 じゃあ、呼びますね。

トキコ お願いします。

インターフォンに向う山音。この隙を見てスーツのポケットから固形栄養食を取り出し急いで口に入れるトキコ。

山音 ああ春日井さん？ ロビーにラガーシャツの男性いるからフリースペースに案内して。ロッカーは空いてます。それと、203にも連絡お願いします。早苗さんいるはずだから……ちょっと、ねえ、何？ その合点承知の介？ 流行ってんの？ それ……（受話器置いて）ったく……

トキコ あの。

トキコ はい。

山音 ええ、どうぞ。

コメントの追加 [はしごち8]: そもそもカットなのか? 「直接的な行動など」とかなのかな?

トキコ 入院の基準みたいなモノはあるんですか?

山音 ああ、そうですねえ: 摂食の場合、依存の対象が生きるために欠かせない食事でしょ。ゆえにあまり強引な処置は施さないのが原則です。家族の元で緩やかに自分を見つめ直してもらう。関係性を見詰め直してもらうのが一番の近道なんです。だからほとんどが通院ですね。オペとか投薬が中心の西洋医学とは皆さんが思っている以上にスタンスが違います。

トキコ ええ、わかります。

山音 以上減つてたり、意識不明になつたり……ほとんどが緊急入院です。

トキコ はい。

山音 それに多くの患者さんは入院を極度に嫌がりますからね。

トキコ それは、あれですよね。そもそもダイエット思考から拒食衝動がはじまります。

山音 その通りです。つまり人からどう思われるかが、かなり大きなストレスになつていています。自分が入院なんてどうにも承知できない。

トキコ そうですか……

山音 心に起きたアンバランスを、他者への暴力や悪物、自傷行為などにも向

トキコ えない、そんなガラスのような繊細さを伴なつていてるケースも多いので。

山音 なるほど。

山音 ああ、でもこれから会つてもらう小坂さんは別ですね。彼女の場合は、本

トキコ 来戻すべき家庭が存在しないのと、珍しく自分から入院を望んでいます。

トキコ そうなんですか……

無言で登場する涼次。黙つて会釈。

トキコ ああ、どうも。

涼次 (会釈)

山音 涼次 (肯く)

早苗 涼次 (失礼します)。

早苗に付き添われ入室する恵美子。
（うなずく）
え、何?
（「口にチャック」のポーズ）
恵美子 変なの。
トキコ どうも、このたびは無理を言いまして……（名刺を渡す）
恵美子 はあ……
トキコ 藤沢と申します。

早苗 私はどうしましようか?
山音 あ、良かつたら同席させてもらいます?
早苗 ああ、いえ：少し部屋で調べたいこともありますしそう。何かあつたら連絡しますね。

山音 はい。失礼します（去る）。

山音 （名刺を見ながら）フリージャーナリスト：かっこいいですね。

恵美子 ああ、いえ：

トキコ でも、これはお返ししておきます。もう覚えました。

トキコ はい：

山音 ジやあ、後はお任せしますね。（恵美子に）話したいこと話せばいいからね。私達がいて喋り辛かつたらいつでも言つて。いなくなるから。

恵美子 はい。

トキコ じやあ……失礼ながら、小坂さんの基本的な情報は院長先生からいた

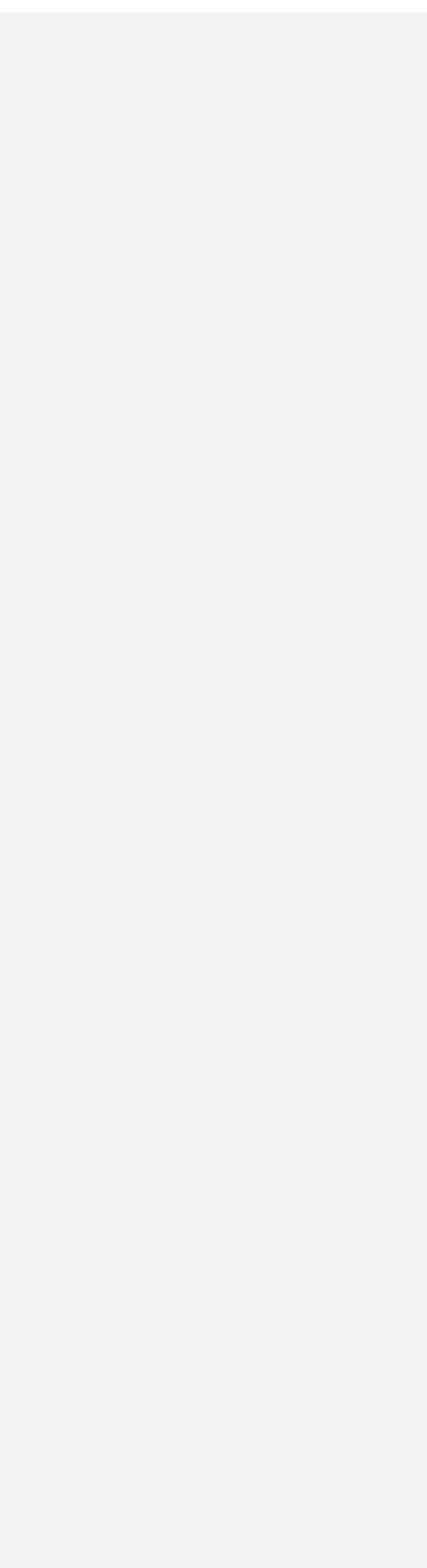
トキコ だいてます。お時間が長くなつても悪いので、その辺はかいつまんで、出来るだけ要点だけ質問します。それでいいですか？

トキコ 普通そなんですね。

トキコ えつ？

恵美子 いえ、話し出し方っていうか。スマートだなあって。

トキコ ああ：あまり自分では意識しませんが：ついつい覚えた常套句かもしがれませんね、そう言えば。



恵美子 どうぞ。何でも聞いてください。答えられないことは所詮答えませんから。

トキコ はい。ありがとうございます。じゃあ、まずは……

メモの準備と資料に視線のトキコ。

山音 何か飲む?

恵美子 ああ、いえ。

涼次 (山音に意思表示)

山音 ん? (ジエスチャード「僕はいるない」)

涼次 ああ、はいはい:

トキコ よければ、自分の体の変調を自覚された辺りから。

恵美子 ああ、そうですねえ……最初のきっかけはやはり失恋かな……私、結構そつちの方は奥手で、同じ世代の男子にほとんど興味なかつたんですね。でも、まあ、今から思えば何処まで本気か分らない所もあるんだけど、気に入れる人が出来て……自信あつたんですよ。大学時代の先輩だったんだけど、街で再会して：彼の反応も素直で積極的だつたし。自分で描いてた恋愛のマニユアルの通りに事が進んで、すっかり安心してた。多分この人と結婚して家庭を持つんだろうなんて思つてましたね。ところがある日決定的に振られちゃつて。親友だと信じてた女友達に取られたんですけどね。

涼次 それ、いつ?

山音 こら。

涼次 あ……すいません。

恵美子 4年前かな。彼がメールの文章を送り間違えて：全部分かっちゃつた。

おまけに彼が私を称してね「ぼつちやり型は好みじゃない」つて。

涼次 何處の誰だよ?

山音 こら。

涼次 あ……すいません。

トキコ ……それで?

恵美子 後は：自暴自棄にダイエットに走つて、見返してやるとかつて……3日ほど絶食したら食欲に歯止めが利かなくなつて、ごく自然に吐きヶセ覚え

て、これは凄いぞって、食欲満たしながら痩せられる。最高の手品、都合の

いい魔法を手に入れたつて……典型的なパターンですね。もちろんその当時はこれが病気だと知らずにいたから、吐いた後は後悔して、自分だけが醜い行為をしてる。生きてる価値もない……なんてね。

涼次 姉さん：

トキコ どこかで「自分はこんなんじゃない」と責め立てる?

恵美子 ええ、そうですね。……一枚だけ写真があるんです。32キロぐらいの頃の。見ます?

トキコ :ええ、良ければ……

恵美子 これです。

トキコ 失礼 (受け取つて) …… これは……

思わず立ち上がりつて写真を眺める涼次。一目見て顔を背ける。

恵美子 なかなかのモノでしょ? でもね。それは今だから言えること。

涼次 どういう事?

恵美子 そこに写つた私を、私がやつていた頃はね。鏡を見ても全然変だと思わなかつた。むしろ結構いくてる。もう少し頑張れば、もっと奇麗になるつてね。

トキコ 冷静な判断が出来なくなる。

恵美子 ええ。でもね、このままではヤバイいつて自覚もちやんとある。だって、食べ物の味なんか何も感じないし、純粹な空腹感をすっかり忘れてしまつて。でも一旦スイッチが入ると：気づけば目の前にカップ麺やコンビニ弁当の空がズラつと並んでて、とりあえず吐く。吐けばとりあえずの決着がつく。

トキコ なるほど……

恵美子 世の中に私と食べ物しか存在してないのね。周りの社会も他人との関係性も何もない世界。街を歩いていても人の顔なんか見ていない。何處見てると思ひます?

恵美子 (微笑んで) そう。ウエストしか見ていらない。人をウエストだけで判断する。その内スイッチが入つて食べまくる。そして吐く。自分がドンドン嫌いになる。またスイッチが入つて、食べる。吐く。……実際食べるためなら何でもやつてた。

トキコ 例えれば？
恵美子 ほらスーパーで半額になるシールってあるでしょ？
トキコ ああ、夕方に値引きで張る奴ですか？
恵美子 随分お世話になりました。
トキコ え、でも最近はシールに十字の切込みが入つてて、貼り替えれないようにしてるつて…
恵美子 だからね、業務用の卸の専門店で同じシールを買って、こっそり貼るの。食べたい物に次々と。

トキコ なるほど…

恵美子 :ある日、レジに向う私の後ろを男の人がついてきた。私ね、逃げれたの。逃げる自信があつたのに、そのままゆっくりレジに歩いていった。
トキコ :いやあ：いわゆる万引きGメンにわざと？
恵美子 「これで止められるかも」つて「見てくれてありがとう」つて。

トキコの背中を軽く押す容子。

トキコ 「これで止められるかも」
恵美子 そう……また戻っちゃつたけどね…

トキコ :親身な友人が私のために言つてくれる。「食べ吐きでは何も解決しないよ」つて。でも当時は「何で酷いことをいう人だらう」つて本気で怨んでいた。

トキコ (山音に) あの先生。

トキコ やっぱ、2人だけにしてもらう訳にはいかないでしようか？

山音 はあ：ううですねえ…

トキコ (立ち上り無言の抗議) :

山音 (それを見て) 弟さんに外していただくのはどうかしら？

トキコ いや、でも、貴方を信用しないんじやないけど……少し心配なので。

山音 トキコ ええ……いえ、それでいいです。:(涼次に) すいません。

涼次 そんなあ…

山音 涼次 どうせまだ居座る気でしょ？ 今朝持つてたディスカウントショッピング

トキコ 袋。あれ、中身寝袋でしょ？
恵美子 涼次 分りました。：じやあ部屋でいていい？
涼次 いいよ。

トキコ じやあ…

トキコ 続けていいですか？
恵美子 どうぞ。
トキコ 大学の先輩への恋心とそして親友が絡んでの失恋、もしくは裏切り…
恵美子 :それが本当のきっかけだと思います？

トキコ えつ？

山音 藤沢さん。

トキコ ご両親が離婚された後、お母さんが息子さんを引き取り、貴方はお父さん側に残つたんですね？
恵美子 :ええ：そうですね…

トキコ お母さんと何か確執があつたのですか？ もしくは…
山音 …藤沢さん、あなた…その話のために涼次さんを？

トキコ ああ、いえ、すいません。知り合いの依存症の女の子と似た感じだったので、つい：たので、つい：たので、さすがですね。一線で活躍されるライターの視線は。

トキコ 恐縮です。

恵美子 ほんと、つくづく類型的なんですね、私。元を正せば、定型的なエレクトラコンプレックス。

トキコ じゃあ、やはり何かしら性的な部分でも…

恵美子 今ではそう解釈してます。でも私にとつては憧れと紙一重。父親に気に入られようと必死でしたから。

トキコ はい。

恵美子 気づいたら母親の視線が変化してました。娘に嫉妬する母親の視線。

トキコ はい。

恵美子 全てが繋がつてますから。私という物質を通して…

トキコ :やがて少しづつ自分の性への嫌悪が積もり、それを否定し、無理し

惠美子 て外界の男性に恋愛を試みる（複線落とす）
トキコ ええ。：あの：大丈夫ですか？
恵美子 トキコ ああ、すいません。友達のエピソード思い出
山音 ああ、はい：
トキコ 藤沢さん。私からもちょっとといいかしら。
トキコ あ、はい。どうぞ。じやあ、ちょっと失礼……

山音 ご存知たとえは思うけど嘔吐つてのはね、たた食べた物だけを吐いてるんじやないの。歯を溶かす胃酸はもちろん、体内に必要な電解質、代表選手たるはカリウムね、それらも一緒に体外に放出する。タイミング悪ければ心臓停止にもつながるんだからさ。

最前のセリフ中、「歯を溶かす胃酸」と「必要な電解質」だけを重複して喋る容子。むろん周りには聞えていない。

メモを整理するフリをしながら、固形栄養食を弄るトキコ。

山音 そうじやなくて、アナタに。

トキコ　え？……ああ、はい。

山音 知り合いの、友達のために来たんじやないでしょ？

山音（恵美子に）お部屋に戻りましょうか？

惠美子 あ、はい、でも…

トギエ 取材はいつでも出来そうね。
恵美子 え、じやあ： 今田慌て

トキコ　：（立ち上がって）どうもありがとうございました。

惠美子

頭を垂れたままのトキコ。 恵美子に無言で促す山音。 去る恵美子。 椅子に座る容子。

山音ま、どうぞ。

山音 何か飲みます？ 左手の食料もいいですよ。

トキコ　いえ……最初から分つてたんですか？

山音 いいええ。あなたの手の甲を見て。
トキコ (反対側に右手を隠す)

山音（反身的に石を隠す）
正式名称じやないけど……吐きダコって呼ばれてますね。

トキコ はい……。

山音 齒は大丈夫?

食嘔吐にも。

トキコ そうなんですか？

山音 確かにある種皮肉ですよね。登校拒否にも自傷行為にも向えなかつた「優
（）鬼（）三さうこひで丁ては裏まで二三つも章音こぶら。

生きるため不可
能な魂が
優しい魂？……

まあ、慌てないで。今の恵美子さんなんかね、最近よく話してくれるの

トキコ　友達……ですか？

最初は依存対象が憎かつたけど、これも私の一部だつて。「食べ吐き」が

いろいろ教えてくれた。一食べたら今の自分はココにいないつ

トキコ はあ：

さっぱり判りませんけどね、私にも。

患者さんに教えられることの連続よ。だから、ま、気

樂に。

それと…これまた思い付きなんだけど…よければまた取材の機会を設け

ますよ。

どうやら貴方の回復には欠かせないようだから。
どうつ?

キコ はい。ありがとうございます。

出音 特例だらけですからね、ココは…じゃあ、こつち。

去る山音、トキコ。見送る容子。やがて背後に再び手旗信号の男達。

「あんてん」の文字を送る。

谷子 「あ、ん、て、ん？」

容子の「ん？」の表情を残し、舞台は文字通り暗転。

【SCENE／4】 暗いままの舞台。以下のセリフが先行する。

橋井の声　：文字通り暗転すると、2人はテレビでゲームに興じている。

セリフ終わりで明かり戻る。桜井と涼次がテーブルを挟んで腰かけいる。桜井はノートに目を落としている。

コメントの追加 [はしごち9]: カット

涼次	もうちよ。もう5日ですかねえ。
桜井	…まだ寝袋で寝てんの？
涼次	いえいえ、2日前から近くのワイークリーに移りました。姉貴も気疲れするだろうと思つて。
桜井	そう…麗しき姉弟愛だねえ…
涼次	ああ、いえ…
桜井	そうそう丁寧語といえれば面白い話があつてね…ほら、随分前の総理大臣。
涼次	えつと、コイズミ、コイズミ。
桜井	ああ、確か…郵政民営化を進めてる間に、女性郵便局長との不倫が発覚してあつさり政界追ん出された、でしたつけ？
涼次	ああ、誰かなく平素に喋る、気さくな感じあつたじやない。
桜井	ああ、そうですねえ。本音で喋ってるぞって感じで…
涼次	相撲でも芸術でもさあ「いやあ感動した。君は凄いね」つて…
桜井	ええ。丁寧語を使わない事で、ウソの無さを演出してたんですよね。
涼次	それが、そうでもないのよ。
桜井	えつと?
涼次	昔からコイズミを良く知る政界の大御所が言つてたんだけどね、「あいつの言葉づかいには何度もヒヤヒヤさせられたんだ」つて。
桜井	まだ秘書官だった頃から、現役の大臣相手に「いやあ感動した。アナタは凄い」つてやつて、脇で皆がハラハラしてたんだつて。
涼次	え、じやあ、イメージ戦略じゃなくて、ただ丁寧語を上手く使えなかつただけだつたんですか？
桜井	思えば感情表現はすべて「凄い」で片づけてたしね。
涼次	へえ。
桜井	聞いてる？ 人の話。
涼次	ええ、もちろん。…あ、でも、裏話と言えば…あ、まずいかこれはえ、何だよ。
桜井	…怒つたりしません？ 丁寧語になつたりとか。
涼次	（カードを捲りながら）出るんですけどね、ココ。
桜井	え、出るつて？
涼次	そりやあ亡靈でしよう。死せる魂。
桜井	ええ、このフリースペースです。夜な夜な米を磨ぐ音がしてね「誰？」つて声をかけると、「もっと食べたい、もっと食べさせて下さい」つて懇願するんですって。若い女の声で。
桜井	ねえ、それ誰が言つたの？
涼次	僕も人づてですが、どうやら出所はアルコールの人達みたいですねえ。
桜井	お姉さんは？
涼次	いえ、さすがに姉の耳には入れないようにしてますので。
桜井	上等ですね。
涼次	はい？
桜井	まあ、根も葉もない噂に決まってるけど、特に過食の人の耳には入れないでね。
涼次	ああ、はい。私にお任せください。
桜井	ホント、誰だよお前。
涼次	はい？
桜井	お姉さんは落ち着いてる？
涼次	ああ、ええ。今週も目標体重重行けそうだつて言つてましたよ。何か取材でいろいろ話したのがよかつたみたいで。
桜井	あんたの存在もね。
涼次	あ、いや、まあ、そうだと嬉しいのですが…
早苗	失礼しまくす。
涼次	（早苗、資料を持ち登場）
涼次	あ、どうも。
早苗	あ、また「もじもじ博士」ですか…へえ、結構強いじやない。
涼次	でも、ココからが勝負ですからね。
早苗	えつと、ココは？
涼次	ええいえ、3ポイント狙いでですから…

コメントの追加 [はしごち10]: 他の部分では「入室」がよく使われてる

コメントの追加 [はしごち11]: ここは「磨ぐ」ではな
いくてもよい?

早苗 ああ、はいはい。
山音 ええ、クイズ?
桜井 最近の芳野さんの高等技術です。適当に相づち打つてると急に設問が始ま
るんです。

山音 まるんす。

山音 へえく。「こめ」

桜井 「さてそこでわしは何と思ったでしょう? 1番・驚いた。2番・けつ
こう驚いた。3番・まま驚いた」つて。

山音 微妙だな、それは。

早苗 で、当たら当たらで解説が長いんです。「げそ」

山音 判りました。じゃあ、私は会わないようにします。

桜井 そんなあ:

山音 (資料のページめくつて) で:まあ、摂食のほうはいろいろバタついた
けど:そうそう、若林なつみさんの方は大丈夫?

山音 ええ:はい。

桜井 友達が押しかけて来たんでしょ?

山音 時間外に。

桜井 あああ、はいはい。

人。 ウチの場合、警備モニターより優秀なのがいますからね。受付に若干一
イニシャルはK。

桜井 ええ:でもまあ、あくまで第3者の情報ですし:ちょうど明日通院日に
なつてますので、それを持つて対策をと。

山音 それがいいでしょうね。シナリオの方もよろしくね。

桜井 あ、はい。「とら」

山音 「くも」。(早苗に) いつだつけ? 国家試験。

早苗 ああ、再来月です。

山音 賴みますよ。即、ひと部所あてがいますから。

早苗 はあ:でも(桜井に視線)いろいろ雑務も多くて::

山音 意外とその方がいいんだつてよ。試験の本番ぎりまで現場で関わってた
方が。 方が。

桜井 ほら。

早苗 そうですかねえ:「わな」

山音 & 桜井

桜井 ええと、それで:小坂恵美子も落ち着いてきてますし::::::ああ、藤沢さ
んは院長の担当でいいんですよねえ。

山音 まあ、乗りかかった船ですからね。
桜井 :親の会も次回はゲストなしです:こんなトコかな。「せみ」
山音 なんだつけ? これから来る何とかサービス。

早苗 墓守サービスです。

山音 ああ、それそれ。そっちはお願ひね。まあ、仁科容子さんがらみなら多
少の経費回してもいいから。

桜井 はい。

山音 それって雑費? 慶弔費?

桜井 さあ:ある種の、厄払いですかねえ:

早苗 あ、そうそう、厄払いって言えば:どうも変な噂が流れるそうで:
え、何です?

桜井 まあ、誰かの冗談から発したと思うんだけど::::

山音 (カードを考えながら) 米を研ぐ奴ですね、深夜に。

桜井 ああ、院長もご存知でしたか。

早苗 あれは、あまあねえ::::

山音 何ですか?

桜井 & 早苗 風向きとかにもりますからして::::

山音 よし「さる」と「へら」。3ポイント。じゃあ、そんなトコかな?

早苗 月見会は去年のような感じでいいですか?

山音 ああ、えつと、来週?

早苗 あい。あ、「つき」

山音 屋上だつたよね。

早苗 (桜井に) どう?

山音 ええ、食事しながら朗読会して:2次会がこの部屋で簡単に。

桜井 えつと::::バス。まあ、いいんじやないですかね。

山音 じゃあ私の勝ちね。

桜井 えつ?

早苗 順位も決まつたし。

山音 そんなあ、だつたら今バスした意味が....

桜井 2次会で沖縄そばってわけにも行かないでしちゃう?

早苗 そうですね。

桜井 あ、スピーチは勘弁してくださいよ。

えく、駄目よ。去年と違つて、今年はれつきとした室長様なんだから。

山音 早苗 桜井 早苗 早苗

あ、院長、それ最近の流行では…

早苗くん。

あ、はい：

え、何？

櫻井 とにかくメインは院長でお願いしますよ。僕はどうせほんの一言しか喋

れませんから。

山音 まあ、じやあ考えてみるけど…。（早苗に）何よ。

神谷の声

どうもお、失礼いたします。

櫻井 あ、何か凄くいやな予感。

山音 え、何が？

鞠を持った神谷が登場。入り口で止まり素早く3人を確認して、

神谷 山音 山音 山音 どうも始めまして。私、メンタルネットサービスの神谷と申します。

どうもご丁寧に：（名刺受け取り、返して）院長の山音です。

ああ、どうも。

出るならこの後だな。

え？ 手品ですか？

や、そうじゃなくて…

おや院長様：こんなところに糸くずが…

えっ？

見事に院長の肩から小さな花を出す神谷。

神谷 これはこれは、チユーリップでした。

早苗 出たあ。

あら、まあ。

どうぞ。

ああ、ありがとうございます。

いえ私の方こそ、ホントにこのたびは、こちらの…

桜井です。

ええ、はい。桜井分長様にはいろいろお知恵を拝借しておりまして…

吹き出す山音、早苗。肩を落とす桜井。

山音 桜井 桜井 神谷

あの、何か？

いいですねえ、それ。そもそも文鳥ってのは…

院長。

ああ、ゴメンゴメン、えくつと、ちょっと待つてね…。（背を向け納得す

るまで笑った後）まあ、どうぞ。

はい、失礼します。

えくと、まあ粗方の事はこちらの、分室の長から伺つておりますが…

私、恥ずかしながら全くの機械音痴でして…

ああ：はい。ああ、いえいえ。

主旨の方には賛同させてもらえそうですので、細かい所はこちらの、桜

井ブンと、進めていただけますでしょうか？

はい。恐縮です。

まあ、私から一言だけ言えるとしたら…。（カードをめくつて）

はい。

「かに」？

ああ、はい。

2ポイント。

知つてる。

流行つてるのか？

じやあ、私は少し片付けモノがありますので…（桜井さん、よろしく）

合点承知の介。

ん？

では、ココで失礼いたします。

ああ、それと、お花ありがとうございます。

いえいえ。

花を掲げて悠々と去る山音。

神谷 桜井 桜井 早苗 神谷

素敵な院長さんですねえ。

そうですかねえ…

早苗 で……何か判つたんですか？ わざわざいらしたという事は。
神谷 ええ、まあ、お茶でもいかがですか？
早苗 いいえ、結構です。
神谷 ああ、私も。

早苗 そうですか……じゃあ、誰からの番ですか？

桜井 ああ（慌てて片づけて）これはもういいです。それより：昨日いた大いにメールでは、大きな進展があつて、それゆえ余計に謎が謎を呼んでるとかつて……。

神谷 ええ、はい。では少しだけ整理させてください。

桜井 ええ、はい。どうぞ。

鞠からパソコンを出し、立ち上げる神谷。

やら文字化けというよりは、意図的に隠されてるようですね。
桜井 つまり：何かのキーワードで処理しないと、正しく変換されないと。
神谷 さすがは分長様。
早苗 あ、わかった。

桜井&神谷 神谷 えつ？
早苗 それが「しづかなごはん」なのよ？ だからキーワード。
桜井 それは違うでしょ。

早苗 えつ？
神谷 それは僕も何度もやりました。多分警察も真っ先にやつてるはずです。

桜井 あ、そう……
神谷 それは一旦置いておいて、（何か操作）意外な進展を見せてているのがこっちで……暫しお待ちを。

早苗 えつと、時間を遡っているんだから……ああ、そうか、この前、多分悪戯だろうって言つてた奴ですね。

桜井 ああ、死んだ仁科さんを名のつた書き込み？

神谷 はい。私も少し事態を軽く見てまして、それで、紹介しなかつたんですけど……これですね「月は満ち、一頭の牛と一羽の酉が天かける。私を殺した『しづかなごはん』を成敗せよ。機は熟した。皆で夜空に繰り出そう」。

桜井 ここでもまた「しづかなごはん」か。

早苗 今度は私を殺した、でももんね。成敗しろとか。

神谷 ええ。まあ、前の「しづかなごはん」は公開情報ですから、だれかが真似で作つたと高を括つていたんですが……

早苗 じゃあ、悪戯じゃないの？

神谷 どうにも特定できなくて……なぜか履歴にアドレスが残つていない。普通これだとアップしようがないんですね。

早苗 通じてたとえ……亡くなつた仁科さん本人が書き込んで……

2人 まさか、

桜井 あ、どこかの、そう、靈界にあるマンガ喫茶あたりから……

2人 どうぞ、話を先に。

桜井 ええ。問題はこの後なんです。自動スクロールに指定しないと面倒なほどで……ほら。

2人 これは……書き込みですね。アクセスした人からの。

早苗 電源取りましょうか？

神谷 いえ、大丈夫です。それでと（操作）：あえて時間を遡つてお話ししますね。仁科容子さんは亡くなる3日前に「しづかなごはん」というタイトルの散文をアップされた。それがこれ。先日コピーでお渡ししたモノです。

早苗 ええ。でも何？ お米を炊く前の、いわゆる洗米の仕方があれこれ書いてあって、よく意味が分らなかつたんですけど。

桜井 そうだねえ。特に暗示的なモノもなくて、強いて言えばタイトルかな。

早苗 「しづかなごはん」。全部ひらがな。

神谷 そして、これが死の直前。飛び降りる前に書かれただらう文字化けのメソセージです。

桜井 ほんとだ、酷い文字化けだなあ。

早苗 でも結構短いですよねこれ。

神谷 の頻度によつて探る方法もあるんですね。もう少し長ければ出てくる文字

桜井 いわゆるシャーロックホームズの解読だな。

早苗 何ですそれ？

桜井 まあ、いいや……で？ 何か進展は？

神谷 ええ、まだ読めてはいないんですけど、海外の友人に見せた所、データメ

な羅列ではないそうです。確かに何かの文章になつていてるつて。ただ、どう

神谷 ええ。先日こちらに伺つてから今日までに、1日に100件近い書き込みがされている。亡くなった直後よりはるかに多い。

桜井 つまり「死者からのメッセージ」に対する反響ですか？

神谷 まあ、大半は冷やかしなんですが、でも、ほら、これとか。

早苗 例の文字化けじゃないですか。

神谷 ええ、ほらココにも。10件に1つの割合で、文字化けの文章が入つてます。

桜井 そうか、つまり：神谷さんの仮説はこうですね。一般アクセスの中にも、キーワードを知つている人達がいて、今でも相互コミュニケーションを持つている。

神谷 ええ。文字化けを装つた秘密のネットワークとでも言いますか？

早苗 あ、でも、今文字化けで書き込んでいる人のアクセスは判るんでしょ？

神谷 いい所ついてきますねえ。もちろんそれは履歴にも残ります。

早苗 ジやあ、問い合わせれば判るでしょ？ キーワードも。

神谷 それが……どうやら警察の方が手を引いた人が堅物で。

早苗 あ、知つててる知つててる。事件報道の時に大袈裟に泣いてた人ね。

桜井 この時々書いてる菱田って人は？ 何か関係者っぽいけど。

神谷 ああ、もとマネージャーとか言つてますね。詳しくはないんですけど、亡くなつた当時、マネージャーは3人体勢だったようです。他は確か、赤井さんと桐山さん。

桜井 今之所、文字化け以外で摂食関係の話題は出てないか……

神谷 ええ、そこなんですよ。

早苗 どこですか？

神谷 念のためと、亡くなる以前の交信記録を探つてみたんですがね：

桜井 所々に文字化け文章があつたと……

神谷 ええ。……で、ココからは私見なんですが、もしかしたらこれ、この文字化け関係が、全部ご病気に關する事なんじやないかなつて……

早苗 ああ、あああ。

神谷 まあ、ありますねえ：摂食の人達同士での秘密のネットワーク……

桜井 え、じやあ……

早苗 前のに戻してくれません？ 「月は満ち……」 つての。

神谷 ああ、はい（操作し始めて）……ああ、そうそう、今お見せした分は全部プリントアウトしてこちらにも。

桜井 ああ、どうも。

早苗 月は満ち、一頭の牛と一羽の酉が天かける。私を殺した『しづかなる』を成敗せよ。機は熟した。皆で夜空に繰り出そう」。

桜井 ううん、これが先週でしたよね。

神谷 はい。

桜井 何だかこれが全ての謎を握つてる感じがするなあ。

早苗 なんか、促してますよね。さあ、今こそ書き込もうつて。

桜井 ううそ。

神谷 ちなみに午と酉は干支の文字。十二支の表記ですね。：（周囲の気配を何となく感じて）ん？

早苗 ええ、確かに：

桜井 えっと、時計で言えば6時と9時。方角だと南と西か……。あの、どうかしました？

神谷 ああ、いえ……

桜井 何か名探偵気分ですね。「謎はすべて解けた！」とかつて。

早苗 解けてないけどね。

神谷 んんく！（お祓いの奇声か？）

2人 コナン出ましたけどく。

神谷 ……（立ち上がる）

2人 ああ、すいません。

呆れて素早く去る桜井と早苗。慌てて追いかけて去る神谷。完全に不条理な空気に支配される空間。

【SCENE／5】

米を磨ぐ容子。スナック菓子を食べ続ける3人。

容子 「月は満ち、一頭の牛と一羽の酉が天かける。私を殺した『しづかなごはん』を成敗せよ。機は熟した。皆で夜空に繰り出そう」。

食べる手を止め、それぞれの椅子に向う3人。ネットへの書き込みを始める。

なつみ 岩手のネル坊です。3週間ぶり？ 元気に摂食してます。この前、初めて自助グループの会に参加してきました。最初はどうしていいか判らなくて、ただ座つてたんだけど、一人ずつ喋るの聞いてたら落ち着いて来て、自分の番になつたら結構いろいろ喋れちゃいました。思えば私、中学生では、自分から皆に話題を提供するタイプだったのね。面白い話するの得意だつた。そんな事を思い出しながら話してました。

恵美子 最初に無くなっていたのは体育館用の上履きでした。小学4年生の秋。ぱっかり空いた下駄箱の暗闇は、とても深い予感をさせました。これから毎日続くだろう私の好きなモノたちの喪失。お弁当箱、鞄、鞄、教科書……

なつみ 嘸り終わって私、とっても素直になつてた。なんでだろうって。あ、そうかつて。ココにいる皆が同じだから、つて。カッコ付けたり、照れ笑いで誤魔化しても無駄なんですね。同じ事、みんなしてんだから……まあ、だからと言つて喋つてないことも沢山あるんですけどね。

トキコ 鹿児島のタマキです。いきなり不躾ですけど、容子さんはどうやって手の甲を傷つけちゃつて。吐きダコって言うんですね。歯ブラシ使う人もいるって聞いたけど……。

容子 富山のかーみらさんへ。私はまだ自分が食べ吐きしてる事、誰にも話し

てないの。そう、このサイトだけ。だからきっと大丈夫。セキュリティも

マックス厳重だし、何より私は皆を信じてるから。
恵美子 一番ショックだったのは、そのいわなき悪意の始まりが、夏休み明けの木曜日だったコトでした。きっかけが判らなかつた。夏休みの間、私は最高の時間を家族と過ごしていました。樂しすぎて気が緩んだのです。私は明らかに迂闊でした。多分、樂しすぎて誰とも連絡を取らない間に、着実に私の計画が進んでいたのです。

トキコ 吐く時って、何か飲んでやりますか？ 冷たい水とか薄い炭酸がいいって聞くけど、私はもっぱらぬるま湯です。冷たいのが逆流すると気持ち悪いので……これも聞いた話だけど、色の残る食べ物を最初に食べるんですつてね、過食の時。御豆腐とかジャムパンとか。それが出たら吐くのを止める。

ノルマ達成って感じ？ でもそれって逆に回復にも使えないかな。必要栄養素を先に食べて、その後で色の付いた食品を食べてね。そうすれば……

恵美子 痛みには慣れていく。訴えないのは仕返しが怖いからじゃない。そしてそんな日々は丸5年続き、やがてあっけなく幕を下ろしたのです。中2の春。私はグループに迎えられました。そう、矛先が変わつたのです。新しい獲物。私は自分の新しい居場所を守るために、その子にいろんな事をしました。食べて吐くようになったのもその頃。やられていた頃ではないのです。そして少しの罪悪感。そのホンの少しが私に食べ物を要求する。まるでやられた頃のリアリティーを取り戻すかのようになつた……。

容子 ねえ、みなさん？
3人 (手を止める)
容子 容疑者は見つかりましたか？ 貴方達をそんなにした容疑者は？

なつみ 先ほどの倍のスピードでキーボードを叩き出す3人。

なつみ 親身なアドバイスが続く。「そんなに食べるから吐くのよ」「吐くつてホントに汚い行為なのよ」つて。知つてると、そんな事。3年も前からさ。

恵美子 体重減つて、まずは生理が止まるでしょ？ それで病院いく子もいるらしいけど、私はむしろ気分が良かつた。何か女から脱出できたようで。
トキコ 栄養が体に溜まらない。肌がでこぼこしてきた。3日前、家具で引つかけて手の甲に作った傷がまだ紫色に残つてた。明らかに傷の治りが遅くなつた。胃酸は集中的に下の前歯を直撃する。もう以前の自分じゃない。

なつみ ヒステリーの語源って知ってる？ 元々は子宮のことだつたんだって。そういうえばダイエットって言葉も「1日のうちに摂取すべき食事の量」って意味だつたんじよ？

容子 事務所の奴らは、さも当然のよう私カラダを要求した。そんな痛みは痛みではない。むしろそんな事で状況が変わっていくことが快感だつた。でも私は甘かつた。「暗い目をしたカリスマ」「今世紀最初の陰ある女優」そんな世間の評価が、私の食べ吐きをますます加速させていく。そしてある日……

トキコ 吐くという行為は体にとつては過負担だから、脳内からエンドルフィンが放出される。痛みを和らげ快感に変える麻薬。私は戦場で傷ついた戦士のよう、その日1日の戦いを終えて眠りに就く。

恵美子 「依存症になり易いタイプの女性」というパンフレットを病院で貰つた。4つの項目が、全て母親の口癖と一致していた。驚くことにそれはすべて母親が私に強制した「女らしさ」だつたのだ。

容子 自分のサイトに気付かれた。慎重に作り上げたはずなのに、やはりハイエナの嗅覚は侮れない。そして、事務所の連中は「食べ吐き」を売り物にしようと企んだ。カメラの前で吐けないかと相談された。プレゼン用だから気軽にと。生まれて初めて殺意を感じた。

トキコ 世の中に新商品が溢れ出す。今日買ったモノは明日には興味を失つて、街には刺激が多くすぎて、慌てて帰路に立つ私にコンビニが待つて、なつみ 彼とレストランで食べながら「帰つたら吐かなきや」と思つて、自分の下宿でセックシしながら「彼が帰つたらいっぱい食べよう」と思つて、リアルな時間はすべて食べ吐きで支配されている。

恵美子 抜食になると肩がこるでしょ？ でも針は禁物なんだつて。針がするつと肺に届いたら肺の空気が抜けちゃうんだつて。

容子 奴らの計算違いは明確だつた。まだ私は業界に未練があると思つていたこと。私は事務所の全てを暴露するよう準備を始めた。だが、やはり私が甘かつた。ただ単に、シナリオは向こうの方が上手だつたと言つて、

なつみ コンビニの商品管理は万全だから、なかなか素通りを許さない。本当に体が食べたい物には気づかない仕組みになつていて。

トキコ プラトンつて偉大よね。はるか昔のギリシャの頃に「心の面を忘れて体が治せるわけがない」つて予言したんだつて。え？ 予言が変？

恵美子 小さい頃、親からよく「しつかり食べないと大きくなれないよ」と言

われたものだ。満腹の快感はすでに染み込まされている。別に満腹しなくてもちろん成長する事に気づいた時には既に手後れだつた。

なつみ だいたい「ちゃんとした大人になれ」とはどういう論理なのだろう。今こんな社会を見せ付けられて、「あんたたちのような大人」になりたいと本心願つと思つているのだろうか？

容子 本当にそれが敵ですか？ 貴方を傷つけた犯人ですか？

トキコ 文字を打つ手を止める3人。やがてゆっくり立ち上がり歩行を始める。それに紛れ、男3人の影が現れる。無言で密談する男達。

恵美子 心の何処かに本当の自分が居て、生活する私を見ている。英語で言うなら自分が「アイ」で私が「ミー」。アイはミーに、イメージ通りに社会に存在してもらわないと困つてしまふ。

容子 深夜2時、もうすぐ奴等はやつてくる。睡眠薬入りのワインを携えて。自殺には最も適当な時間。そしてそれは確かに、私が最も自信がない時間。最も無防備で投げやりな時間。どこまで抵抗できるのか、どこまで生への力が残つてゐるのか。最も自信が持てない時間。

トキコ 私がこんなになる前はね、過食つて、異様に太つた、150キロ超えて部屋から出られない人達だと思つてた。今では彼らすら羨ましい。きっと食事は美味しく食べていると思うから。

恵美子 嫌なことが重なつて「自分」は「私」の喉に深く指を差し込んで食べまくる。我に返つて驚いた「自分」は「私」に絶望し、ちょっとしたきっかけで気が緩む。

この辺りから部屋に忍び込む僕。手にはナイフ。

トキコ 古代ローマのネロ皇帝も自分では歩けないほど太つちよで、城の中を移動する時、数名の奴隸に担がせていた。人々に自我の発生は見られず、自分と私が一体である幸せに満ちていた。

なつみ 18世紀、7歳のアリスは赤ん坊に嫉妬した。母親の母乳を飲み続け

（音楽）

る赤ん坊に「この子が死なないなら私が死ぬ」と宣言し、完全な拒食を貫き自分の言葉を実証した。人類最初の拒食である。

容子 どうかこの楽しいお喋りが、この秘密のサイト自体が、皆さんにとって新しい依存のカタチになりませんように。新しい逃げ場所になってしまいませんように。静かな警戒は必要です。私にはもうあまり時間がありません。

優 でもいつか、もしこのホームページをたまたま見かけたら……。

アリスは自分がアリスであるために拒食を貫いた。自分の自我だけを武器にして。母親のせいにも社会のせいにもしなかった。

男達の内の一人の影に向かい走るも、誤つて容子の背中を刺す優。部屋を去る3人の女性と男達の影。ゆっくり跪く容子。

容子 ごめんね、アンタまで巻き込んで…

我に返り走つて部屋を去る優。

容子 もう止めにしませんか？ 犯人探しは。

早苗が駆け込み、部屋の明かりが戻る。

【SCENE/6】早苗、部屋の違和感を気にしつつも、気を取りなおし、持つて来た大きな紙を壁に貼る。それは手作りの大きな50音表。早苗、赤マジックを取り出し、文字に丸を記入する。

早苗 し、ず、か、な、ご、は、ん…

赤丸の図形をいろんな角度から眺める早苗。何かに満足し、静かに去る容子。やがて白衣姿の桜井。

早苗 桜井 桜井 ちよつと休憩…。
どうぞお…
え、何それ…小学生の患者?
いえいえ。

じやあ：アルコール？
早苗 あまり笑えませんけどね。飲酒依存の低年齢化も進んでますので。
桜井 だから何？
早苗 午と酉が暗礁に乗り上げたんで基本に帰ろうかと。
桜井 ああ、しづかなごはんね、平仮名の。
早苗 サソリかな？
桜井 さそり？
早苗 ほら、こうしてこっちから見ると…ハサミがこれで…
桜井 図形に走るなよ。それは気休めでしょ。
早苗 午にも酉にも見えないし…午が南で酉が西でしたよね。
桜井 うん。ネットで仁科容子のマンション調べてさ、地図の南北方向を全部検索したけど全然外れ。ひょっとして事務所関係者とか住んでないかと思つたんだけどね。
早苗 やつばこれだな、この中に…。
桜井 国家試験はいいの？ 精神保健福祉士。福祉士が鬼門だよね。
早苗 何かこれをクリアしない限り受からない気がして。
桜井 勉強しない限り受からんでしょう？
早苗 濁点にヒントがあるのかなあ…。
桜井 避難行為だつて。謎解きに依存してますよ。
早苗 ううん：
桜井 あ、ねえ、聞いた？ 怪談話。
早苗 え、この部屋のですか？
桜井 増殖してますよ。
早苗 えつ？ 増殖？ 話が？
桜井 話も人も。話しが数人に増えて、どうやらココからちやっかりネットしてゐるらしい。
早苗 マンガ喫茶じやなくて？
桜井 やつばアルコールの人達？
早苗 ん？
桜井 うん。よくもあれだけ次から次に話が作り出せるもんだよね。まあ、看にしない分マシだけど。
早苗 でも都市伝説って、何かしらリアルな闇の部分がないと発生しないっていいますからねえ。

桜井 じゃあよろしく。
早苗 あ、はい。
山音 あ、ちょっと待って角田さん。
早苗 はい……
山音 （桜井に）若林なつみさんは終わつた？
桜井 いえ、これからです。
山音 来てはいるの？
桜井 ええ、さつきもチラッと、ああ、多分屋上ですね。いつも会う前に一服して来ますから……
山音 そう：じやあ角田さん。先にココへ来るよう伝えてくれない？ 勝手に入れてくれていいから。
早苗 あ、はい。では：

優を気にしつつも去る早苗。

桜井 まあ、座りません？
山音 そうね、大丈夫だから。
優 はい……

所在なさげに座る優。

桜井 まあ、座りません？
山音 ちようど良かったわね。
優 はい。ホントすいません……
桜井 あの、若林が何か？
山音 ああ、そうじやないんだけど：入り口でね、余りに拳銃不審だったから声掛けたのよ。

桜井 ええ、はい。

山音 そしたら泣き出しちやつて、最初は要領を得なかつたんだけど……
なつみ 入り口に立っているなつみ。立ち上り視線を外す優。

なつみ どういう事ですかこれ？

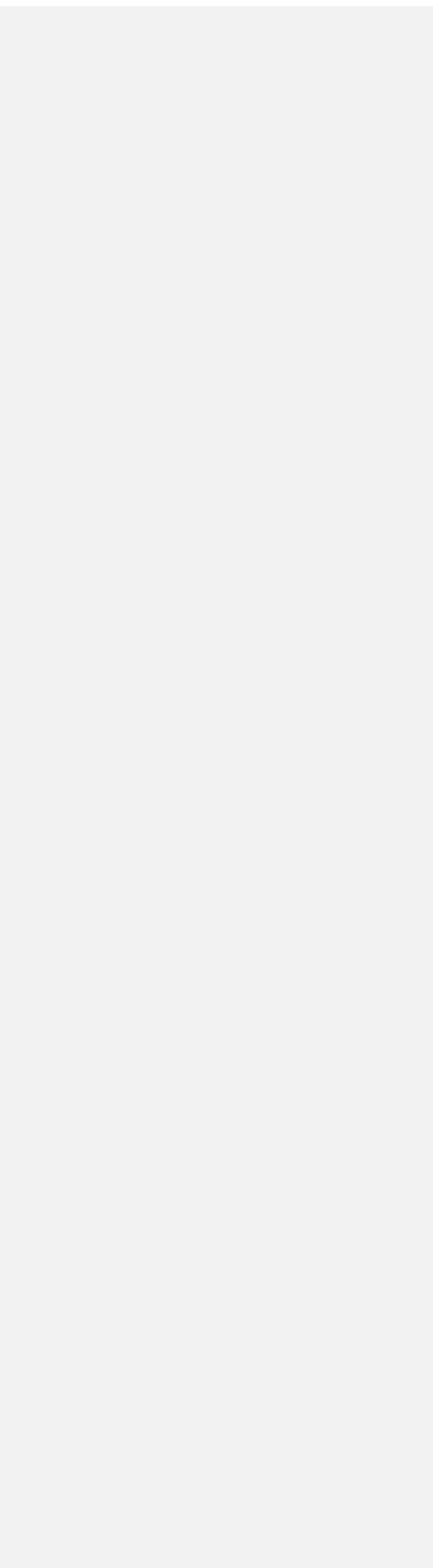
桜井 いや、その……
山音 まあ、掛けて若林さん。
なつみ はあ。
山音 さ、貴方も……どうする？ 自分で話せる？
優 はい。

椅子に腰掛ける優。わざと遠い椅子を選んで腰を下ろすなつみ。

優 ……ゴメンなつみ。
なつみ どう言う事よ。
優 その……私、やつちやつた、崇。
なつみ え？
優 殺しちやつた、私が。
桜井 えつ？
優 ゴメン……

首をうな垂れる優。無視のまま微動しないなつみ。

桜井 院長……
山音 自首する前に一目なつみさんにつて……
桜井 じやあ：現場から、その足で？
山音 状況が分らないから、とりあえず救急に連絡してみたら既に車は向つてるようだつた。慌ててブン屋を装つたけど、命のことまでは判つていない。
桜井 じやあ警察もばちばち。
山音 そう。あまり時間がないわね。ちゃんとこちらから出向いた自首にしないと、後で酌量に違いが出るから。
優 ゴメンなつみ。
なつみ どうして？
優 ホントにゴメン。
なつみ 何を謝つてるの？
優 なつみ だつて……
なつみ なつみは一人で戦つてゐるのに。自分の命まで掛け戦つてゐるのに、私、



勝手にカツとして……

なつみ
……

優 優 やり直したくて、なつみと。

なつみ
……

優 優 うん。馬鹿じやないの……

なつみ
……

優 優 うん。どうして。

優 : あなたと別れてくれって言いに行つたの。あいつ、何かHなビデオ見てて私と気づかずに、別の女だと思つて「おう、入つて入つて」って「これすぐえんだよ」って……気づいたら持つてたナイフで刺してた。

目を伏せる優。無視し続けるなつみ。

山音 横井 : あのさあ、小山内さん。

山音 横井 : えつ?

山音 横井 : なつみさんお芝居の台本書いててね、その中で不倫相手のヤマザキって奴が死んじやうのね。

優 優 ええ、読みました。早苗さんから借りて。

なつみ なつみ 読んだの?

横井 横井 : ああ……僕が角田さんに頼んだんだ。

なつみ
……

横井 横井 : 読んでくれてたなら話が早い。宇宙人Aは君だ。

なつみ
……

横井 横井 : それから宇宙人Dも君だ。

優 優 先生……

横井 横井 : 舞台は文字通り暗転し、やがて合体し「優」と名乗った宇宙人と、ヒロインなつみは旅をする。広い宇宙を2人きり、無限の退屈な時間を、シンプルなゲームで過しながら。

なつみ
……

横井 横井 : 久しぶりに分析した。信じていいよ。

山音 山音 : はい。

山音 山音 : じゃあ、行きましょうか。

なつみ
……

優 優 (桜井に) ありがとうございます。

山音 山音 : また後でも話せるからね。

優 優 : はい。

山音 山音 : ちよつと署まで送ります。

桜井 桜井 : はい。お願いします。

なつみ なつみ どうだった?

優 優 : え?

なつみ なつみ 隠し撮りのビデオでしょ。

優 優 !……うん。

なつみ なつみ 私も夕べ見せられた。何時の間に……私、奇麗だった?

全員 全員 : えつ?

なつみ なつみ 私が殺そうと思ってたのに……

優 優 : なつみ……

なつみ なつみ 貴方がやらなくとも、私が……ちゃんと私が……

優 優 : なつみ……

なつみ なつみ 会いに行くから。すぐに。

優 優 : うん。(山音に) お願いします……

山音 山音 : はい。

静かに出て行く山音と優。言葉が掛けられない桜井。

なつみ なつみ : 先生。

桜井 桜井 : ん?

なつみ なつみ 食べていいですか?

桜井 桜井 : ……いいよ。ドンドン食べなさい。

なつみ なつみ : はい。

見守る桜井。食べ続けるなつみ。静かに暗転。

SCENE 7

【SCENE／7】 薄暗い舞台に人の気配。1週間以上たつたフリースペース。誰かが入室し、壁のスイッチを点ける。事務机で桜井がうなされている。飲み物を片手にしたトキコと涼次。

もマズイ展開だなあ
トキコ そうなんですか

入室する院長 恵美子

トキコ あら、先生、先生。
桜井 お止め下さるな、拙者には拙者には……

トキコ 桜井 先生。ん？……ああ、これはこれは藤沢殿……

涼次 横井 大丈夫ですか？

トキコ 侍口調になつてましたけど……

トキコ やだ先生。
さあ、火海の海上に附木が落ちて、

桜井涼次：…どうしたの君たち今まで屋上でして。

桜井 ああ、月見会?
らココで2次会?
吉田 そうかそうか、寝ち

トキコ　ええ、多分。
桜井　あ、じゃあ……ちょっと手伝って。

涼次 ああ、はい。

テーブルや椅子を適当に動かす桜井

桜井 で、堪能できましたか？ 名月は。

トヤニ 桜井 ええ、でも朗読会の間に少しずつ雲
そうなの。

涼次 桜井 小雨がぱらついてきたので急遽下に移
え、じゃあ、院長のスピーチはまだ？

涼次 ああ、はい……。
桜井 他の人は？

トキコ 桜井 多分、見送りじゃないですか。時間ああ、そうか、親の会の人も多かつた

コメントの追加 [はしごち12]: 「忘れてしまう」?

出すようになりますので、よろしく。えつとホントお世話になりました。また晴らしにきます。

一口飲む面々。涼次が先行して拍手。皆も従う。

早苗 …じやあ院長、そろそろ。

早苗 恵美子さん達の電車もありますし、喋り出すと止まらないし。

トキコ あの、スピーチですよねえ、恒例の。

トキコ メモ取らせてもらつて構いません。

トキコ 取材の許可はいただいているはずですが。

トキコ えつ?

おお、どうがいり。今日だけは二上りで、やれども詰懶に死んでたことだけ持ち帰つてもらうのは。

山音 その人にホントに必要な物はちゃんと残るし、メモないと忘れてしま

トキコ はい。やつてみます。

桜井　もう始まってるんじゃない？
　　ありがとうございます。

和む人々。食べ物を取る人もチラホラ。

山音 じやあ、まあ、手短に。……摂食に限らず、いわゆる依存症のハードル

T.M。全てが依存する心への大きな入
ームといいますがそれを支えているの
なつみ
えつと……OLの人達ですか？

山音 そう正解。OLSと主婦層ね。朝ごはんを抜いてお昼を300円代の弁当で済ませ、600円台のグルメ雑誌を買って、週に1回、自分へのご褒美と言つて豪華な食事に出掛ける。味よりもそこで食事をしている「自分」を味

手に入れて、少しでもお得感ある店で食事をする

彼女達のことを誰もグルメとは呼びませ
ん。言ひて、二、三の道

卷之三

ふらり
容子が入室
皆の周りを浮遊する

山音　社会が病んでいる。社会の方が間違っている。でもね……最近私は思うんです……そろそろ「悪人探し」は止めにしませんか？　社会が悪い、親が悪い、教育が悪い、ある人が悪い……そう思う気持ちにまた依存する心が芽生えてくる。そういう風に出来ている。

山音
いえいえ、それまたキツイですかね……も

トキコ これはまた大胆な。

山音名づいて「山音教」のニンジン外語で、それでわざわざ会て発表しゆくゆくは単行本も山のようになんかも開いちやつて：

山音 細フナソ食ハルハタリシナイト「さいわ」
今の発言、後で後悔しますよ。あ「後で」は重複か…

山音 はい。皆で南の島に行きましょう。

専用のチャーター機で行きましょう。島のフルーツも美味しいけど、ち

人は既に予約がリザーブされています。

桜井 桜井山音
えつ？
予約でリザーブときましたか。
じやあココからは桜井先生が話します

コメントの追加 [はしごち13]: 「働いていた」？「通って」でも問題はないと思うのですが、どうもはしごちが通院をイメージしてしまう偏屈ものでして。。。

なつみ よ、待つてました。

よ待つてました。何と言つても分室の長ですからね。クク。ああ、判りました判りました。じやあ……

桜井 山音 何と言つても分室の長ですからね、クク。
ああ、判りました。判りました。じゃあ…手短に…さあ、皆、飲んで食つて。喋つて喋つて。

テーブルでサラダをつまむ人々。自らもコップを取る桜井。

桜井：僕は院長のような話術はないし、腰を折るようで恐縮なんだけど……僕は今まで誰かの命を救つた実感が一度もありません。でも、死なせた実感は残つてゐる。

早苗 桜井 先生： ついに彼女をA子と呼びましょう。ちゃんと患者と向き合うため、僕達

桜井：仮に彼女をA子と呼びましょう。ちゃんと患者と向き合うため、僕達は相手の女性から信頼を得ようと思います。これが時折、相手にとつては依存対象になる。さらには疑似恋愛にも発展し……A子もまさにそうでした。いや、疑似って言つてるのは僕の逃げかも知れません。当時僕が通つていたのは丘の上の入院型クリニックで、A子はいつも門まで僕を出迎えて、廊下では手を握り、そして何より、回復の経過が順調でした。ある日、彼女が腕を組んで僕を門まで送つてくれていた時、施設の窓から僕達をからかう声が聞えたんです。僕もまだ若かつたし経験が不足していた。他のドクターの目も気になつた。僕は深く考えることなく、A子の手を振り払つた……。その夜、彼女は手首を切つて亡くなりました。僕がいない時が寂しいからとねだられて買つた、安いキーホルダーを握り締めて……。

山音 桜井さん……
最初の面接で、治つたら2人でラーメンを食べに行く約束をしてて、いつもその事ばかり喋つてた……ちょっと失礼。

コップに水を継ぎ足す桜井。容子だけが静かに歩行している。

桜井：これは全くの受け売りですが、かつて日本に独自の神経症治療法を考案した、実に名高い医者がいましてね。彼は、まさに臨終の際、多くの弟子をベッドの脇に呼び付けて、泣きわめいたそうです。「死にたくない」「死にたくない」……「俺は医者だから自分の腫瘍のことも心臓の具合もよく判

る。だからよく見ておけ。自分は悟ったような顔をして死ぬのではない。オイオイと泣きながら死ぬんだ」：

全員 イオイと泣きながら死ぬんだ

横井 いきましょう。
……頑張つて……いや、頑張らなくていい……皆さん、生きれるウチは生きて

【SCENE／8】闇の中、以下のセリフが先行する

神谷 だから、何が触媒になつてゐるか判らない所が怖いんです。
桜井 「ええ……それは叔父さんじやないといけないんですか？」
神谷 まあ、基本的にはそうですが、最近の感染例としては女子校生にも顕著に見られます。何と言つても「ダヨーン症候群」ですからねえ。
桜井 はあ……

明かり入るとテーブルを挟んで桜井と神谷

つまり、話の語尾についつい「ダヨーン」を入れてしまう。
「被害はとても深刻ダヨーン」「今日の会議は2時からダヨーン」

でも病原菌である「叔父さん」が自己紹介したりすると大変ですよ。

ああ、もう半りましたから、弛まぬ円運動に陥つてしまふ訳ですね。

神谷 桜井 どうでしょう？
いやあ、新しい都市伝
あ……例えばもう少し叔父
下敷きにしてですねえ……

神谷 あ、いいですねえ、それ。

机の上のインターフォンが今までとは違った音質で鳴る。

桜井 桜谷 桜井
あ、ちょっと失礼。
どうぞ、どうぞ。
(電話に出て) はい。摂食ホットライン、担当の桜井です。ああ、君
かあ…おう、どうしてたあ?…当たり前だろ、ちやんと覚えてるよ。雪江だ
ろ。日置雪江。どうよ、最近…うん…うん…学校は?…うん…そつか
あ、戻つちゃつたかあ…うん…え、メール?…ああ、はいはい。いいよ
いいよ。じやあ、また後で…(受話器置いて) どうもすいません。

神谷 患者さんですか?

桜井 桜谷 桜井
ああ、ええ。まあ、彼氏からのメールで途切れてしまうような相談ばか
りですけどね…まあ、何が救いになるか判りませんので。
ホットラインって事は:通話料無料で?
中には金がなくて、医者に来れない奴もいますからね。
じやあ、全くのボランティアですか?
いや、まあ、気持ち的には仕事ですね。彼女達から教わることも多いの
なるほど……。
失礼します。

早苗 早苗がトレイにお茶を乗せ運んで来る。

神谷 ああ、どうも。
粗茶ですが。
ありがとうございます。
ま、どうぞ。

静かにお茶を飲む3人。

桜井 神谷
あの。
はい。

神谷 桜井 神谷
やつば不味かつたですか? 私のお茶。

ああ、いえいえ。
きよ、今日はたまたま時間に余裕がありましたので…

桜井 早苗 神谷
えっと、じゃあ角田君も来たので本筋の方を。

神谷 桜井 神谷
ああ、はい。(資料を取り出し): ホントいろいろご協力いただきま
したので、せめてもの気持ちを報告資料にかえまして。

2人 (手渡され) はあ:

神谷 基本的にはメールしました通りの内容です。キーワードの発見により警
察も出光、菱田両名の家宅捜索を目論んでます。容子さんが書いた死の直前
の記載が大きな材料になりました。

早苗 まるで予言でしたもんね。自分が殺されるシーンの。

神谷 桜井 神谷
はい。当事者しか知らない事実も多く、驚かされました。

桜井 早苗 神谷
例の文字化けメールを送つて來た人達は大丈夫でした?
神谷 はい。ご進言いただいた通り、摂食障害の方々のプライバシーは手厚く
保護されるよう手続きが済んでます。それに加えて例の小山内優の傷害事件。

早苗 桜井 神谷
え、じゃあ、刺されたなつみさんの先輩も、例の事務所が絡んでたんで
すか?

桜井 裏ビデオ絡み? 腰の重い警察を動かすには、格好のタイミングだった
らしい。
神谷 まさに「機は熟した」って感じですね。
早苗 へえ:でも命に別状なく良かったですね。もちろん優さんやなつみさ
んにとつて。

桜井 神谷
そうね。いろいろご苦労様でした。

神谷 えええ。
早苗 えつと、じゃあ今日はこの報告書だけですか? 訪問の訳は。

神谷 ああ、いえ…まあ、その…

桜井 そうそう、肝心のウェブサイトの管理運営はどうなったんです? ご家
族とは上手くまとまりました?
それが…消えちゃいました。

桜井 早苗 神谷
はい?
ホームページが、ですか?

神谷 はい。何の予告も無しにある日ブツつと。サーバー業者も首をかしげる

はせ ひろいち

【参考図書など】

- 「拒食の喜び、媚態の憂うつ」 大平健著 岩波書店
- 「依存症の女たち」 桐野未矢著 講談社文庫
- 「必ず治せる！摂食障害」 菅野庸著 文芸社
- 「過食・拒食」 黒川順夫著 双葉社
- 「伝染る『怖い話』」 別冊宝島編集者部編
- ★なお、これらの書籍類に先立ち、何より「こころ♥ネットK A N S A I」の当事者、回復者、病院関係者の方からの「生の取材」が、僕にこの戯曲を書かせてくれました。この場を借りて皆様の御理解と勇気に感謝いたします。

えっと、さつきのは前の彼？ 茶髪の……あ、なんだそうか、いつ？ そ
つかあ、そんな前か……うん……うん……体重は？……眠れる？……うん……
で？ 新しい彼氏は知ってるの？……うん……そつか……うん……じやあ
さあ、雪江さんさあ、一度来ないか？……うん……久しぶりに顔見せてよ。
最近面白いんだぜ。クリニツクに巨大な文鳥が出没してさあ……いやいや……
見にこいよ……うん……え、約束？ ああ、約束って僕との？……いいよ……
怒つてないつて……僕との約束は、この電話でチャラだ……いいんだよ。
何回失敗したつて……僕なんか毎日院長に怒られるんだぞ……うん……う
ん……じやあ、新しい約束はねえ……そうだなあ……下剤だけは今すぐやめ
て、電話切つたらトイレに流すこと。んで……来週辺り来れない？……うん……
いいよ……診察代ぐらい貸しといてやるからさ……うん……ああ、じや
あ、もう一つ。約束の追加ね……ちゃんと直つたら、何か上手いモノ食いに
行こう。……まあ、それはお前の態度次第だけどね……うん……あ、馬鹿に
すんなよ、ちゃんと行き付けの店の1つや2つ……あ、そうそう、今夜もちよ
つと下見したい店があつてねえ……え？……バーカ、そんなんじやないよ……
うん……うん……そつか……大変だなあお前も……そう……うん……うん……生理
は順調？……うん……うん……そつか……

いつまでも笑顔で話し続ける桜井を残し、静かに暗転。

おわり

本作品の上演につきましては、
必ず左記までご連絡ください。

〒501-0431

岐阜県本巣郡北方町北方1857

ハイタウンS2・815

はせ ひろいち

[090-8544-44480]

